

群馬への宿泊旅行に関する東京在住者の意識調査

群馬経済研究所 主任研究員 稲田純也

調査のポイント

群馬への宿泊旅行をしたことがある東京在住者に対し、群馬への宿泊旅行のきっかけとなった情報源、目的、内容、評価、今後の意向などについて調査し、その結果をまとめた。

要約

- 群馬への宿泊旅行のきっかけとなった情報源は、主に「家族・友人・知人との会話」で、口コミの影響力の大きさがうかがえた。
- 旅行の目的は、「リフレッシュ」、「温泉」、「リラックス」で、気分転換や癒しを求める傾向が強くみられた。
- 旅行の内容は、「個人旅行」で「1泊」が主流で、草津温泉を含む「吾妻エリア」への訪問が多かった。1人当たりの消費金額は、「2万円以上3万円未満」が最多だった。
- 旅行の満足度は高かったが、目的地への交通アクセスや観光スポット間の移動手段に不便さを感じる意見もあった。
- 今後の旅行先選びでは、費用の安さや交通アクセスの良さといった“手軽さ”を重視する傾向がうかがえた。そのなかで、群馬を再訪したいと考える人は比較的多かった。

【アンケート調査概要】

調査方法 : インターネットアンケート調査

調査期間 : 2025 年 4 月上旬

調査対象者 : 群馬への宿泊旅行（ビジネスを除く）をしたことがある、
東京在住の 20 歳以上の男女（群馬県出身者を除く）

回答条件 : 最後に実施した群馬への宿泊旅行（ビジネスを除く）について回答
（今後の意向に関する設問を除く）

有効回答数 : 1,110

回答者の内訳

	回答者数	年代				
		20代	30代	40代	50代	60歳以上
全体	1,110	222	222	222	222	222
構成比	100.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%

注：男女比 1：1。

四捨五入の関係により、内訳と合計が一致しない場合がある（以降の図表も同様）。